

## 1月 キツネ

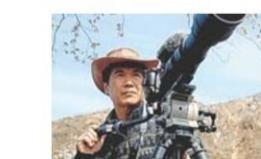


野生のいぶき  
湖国のフィールドから  
動物写真家 須藤一成

10



## 跳躍、口から地上に突っ込む



すどう・かずなり 1961年、京都府夜久野町(現福知山市)生まれ。イヌワシに魅せられ、滋賀を拠点に撮影に取り組む。米原市在住。写真集『Golden Eagleイヌワシ』(平凡社)など。

キツネは河川敷の草地で出で狩りをするのに出会った。そこにはハタネズミがたくさんいる。キツネはそれを知つていてやつて来たのだ。ハタネズミは土の中や枯れ草の下を歩きまわっているので、その姿を見つけることは難しい。キツネは颯爽と歩きながら、その鋭い聴覚でハタネズミが立てる音を聞いている。それらしい音を捉えたなら、キツネは瞬時にビタリと動きを止め音源を確かめる。

ハタネズミでなければ、キツネはまた歩き始める。ハタネズミと判断したなら、足音をせないよう敏捷に足差し足で跳びかかる距離まで慎重に近づいて行く。キツネは立ち止まり、頭を少し傾け両耳の角度を変えて音源の位置を特定しようと試みる。目はすでにその方向にくぎ付けになっている。ハタネズミのわずかな動き、土や草の揺れを捉えたなら、すかさず軽快な跳躍で襲いかかる。キツネ自身の体長の2倍くらいの距離を跳んだり、上方に高く飛び上がったりして口か

須藤さんが撮影した写真や映像をまとめた「日本とアフリカの野生動物写真映像展」を20~31日に京都市中京区高倉通一条下ルのレティシア書房で開催しています。午後1~7時。月火曜定休。無料。

京で写真展、きょうから

キツネは雑食性で果実なども食べるが肉食の傾向が強い。ノウサギやノネズミ類など小型の様々な哺乳類を捕食する。獲物にありつくのは簡単ではないので、歩いている時も座つて休息しているように見える時も、常に獲物を探している。ある時、キツネが突然ブッシュの中に飛び込んだと思ったら、次の瞬間に手二本リストを口にくわえて出て来たことがあった。また別の日には同じようにブッシュに飛び込んでいたチヌを捕らえた。狩りは獲物を見つけた瞬間に始まるのだ。

キツネが河川敷の草地で出で狩りをするのに出会った。そこにはハタネズミがたくさんいる。キツネはそれを知つていてやつて来たのだ。ハタネズミは土の中や枯れ草の下を歩きまわっているので、その姿を見つけることは難しい。キツネは颯爽と歩きながら、その鋭い聴覚でハタネズミが立てる音を聞いている。それらしい音を捉えたなら、キツネは瞬時にビタリと動きを止め音源を確かめる。

ハタネズミでなければ、キツネはまた歩き始める。ハタネズミと判断したなら、足音をせないよう敏捷に足差し足で跳びかかる距離まで慎重に近づいて行く。キツネは立ち止まり、頭を少し傾け両耳の角度を変えて音源の位置を特定しようと試みる。目はすでにその方向にくぎ付けになっている。ハタネズミのわずかな動き、土や草の揺れを捉えたなら、すかさず軽快な跳躍で襲いかかる。キツネ自身の体長の2倍くらいの距離を跳んだり、上方に高く飛び上がったりして口か

須藤さんが撮影した写真や映像をまとめた「日本とアフリカの野生動物写真映像展」を20~31日に京都市中京区高倉通一条下ルのレティシア書房で開催しています。午後1~7時。月火曜定休。無料。

耳で聞いて自分で確認し、音を立てる

てずに近づき、見事な跳躍で寸分

の狂いもない場所へ着地する。キ

ツネの身体能力に圧倒される。さ

らにキツネは、聴覚だけで獲物を

捕獲できる能力を持っているよう

だ。獲物を一日取り逃がした時、

次の瞬間には見えていないはずの

音でも狩りの成功率は高くはない

後方に飛びかかって獲物を捕らえ

ることがあるからだ。

耳で聞いて自分で確認し、音を立